

令和8年度 江戸川区立小岩第三中学校 学校関係者評価報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他を大切にし、思いやりのある人</li> <li>心身ともに健康で、豊かな実践力のある人</li> <li>積極的に学習し、考えて行動できる人</li> <li>文化や伝統を尊重し、社会に貢献できる人</li> </ul>	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>校訓である「公德 礼讓 明朗」の育成を図り、生徒の心を耕し、身体を鍛え、学力を伸ばす、江戸川一面倒見の良い学校</li> <li>あたたかい心もち、あいさつができ、自律の精神をもち、自身で考えて行動できる生徒</li> <li>人としてのあたたかさ、優しさもち、保護者や地域と連携しながら生徒の学力・体力の向上に尽力する教師</li> </ul>
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業アンケートで全教員が肯定的回答80%以上。</li> <li>別室（スマイルルーム）の整備や、多様な学びのサポート教員、エンカレッジサポーター、SSWとの連携を密に行い、不登校傾向の生徒や保護者の支援を充実させ、登校機会を増やし、学校と家庭の連携をさらに強化することができた。</li> </ul>	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力（特に英語）の向上。</li> <li>学習習慣の定着。</li> <li>学校行事の精選とペーパーレス化の推進。</li> <li>働き方改革の推進。</li> </ul>

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	自己（学校）評価		学校関係者評価		次年度に向けた改善案
				評語	コメント	評語	コメント	
学力向上	授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒への授業アンケートの実施。</li> <li>教員の校外研修への参加を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回実施し、生徒の肯定的回答が全教員で90%を超える。</li> <li>専門研修、模範授業、研究授業参観に全体の30%の教員が参加する。</li> </ul>					
	学習習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習でのミライシードのドリルパーク活用を推進し、正答率や連続学習生徒を表彰し、学習意欲を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のドリルパーク活用率90%以上、表彰生徒を学級で5名以上。</li> </ul>					
	英語力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTの授業で話すことに重点をおき、また、AIアプリの活用を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の授業で生徒の肯定的回答が全教員で90%を超える。</li> </ul>					
体力向上	基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の授業での補助運動の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間、授業の前に実施し、身体を動かさせる。</li> </ul>					
	運動意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスチャレンジへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校生徒対象とし、肯定的な感想が全体の90%以上。</li> </ul>					
共生社会の実現に向けた教育の推進	特別支援教育を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年にコーディネーターを配置し、教職員全体で支援の必要な生徒について共通認識をもち対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度初めに全員で生徒情報を共有する。また、週に1回校内委員会で生徒の様子を報告し、対応について検討する。</li> </ul>					
	日本語を母語としない生徒への支援を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語指導の実施。</li> <li>授業や定期考査等での配慮。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別や日本語教室の指導を受ける機会を適宜設ける。</li> <li>教材や問題のルビ振りや必要に応じた翻訳機能の使用。</li> </ul>					
い	不登校傾向生徒の対応を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校対応コーディネーターを中心に、全教職員で連携して対応する。</li> <li>別室登校を柔軟に受け入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との関わりがない生徒をゼロにする。</li> <li>エンカレッジサポーターや不登校巡回教員と連携して定期、一時利用などすべての生徒が利</li> </ul>					

しめ不登校の対応の充実	いじめの早期発見と解決。	<ul style="list-style-type: none"> <li>L-Gateを活用し、生徒の状況を把握する。</li> <li>アンケートの実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期発見と、重大いじめ案件発生ゼロをめざす。</li> <li>年間3回の実施。</li> </ul>				
	教育相談の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCIによる1年生全員面接の実施。</li> <li>相談希望アンケート実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期中に完了し、問題を把握する。</li> <li>夏休み明けに相談希望アンケートを実施し、希望者に相談機会をつくる。</li> </ul>				
学校（園）開かれた実現	学校情報の発信を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校ホームページを通じて生徒の様子や必要な情報を発信する。</li> <li>テトルの活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日1更新を目指す。</li> <li>必要な情報は随時テトルで保護者に配信する。</li> </ul>				
	学校公開の実施と充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年3回の学校公開、土曜授業の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校公開時は事前に内容を配信し、保護者が授業参観しやすくする。</li> </ul>				
	学校関係者評価の適切な実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業アンケート実施、学校評議員と保護者の学校評価を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケートは年2回、保護者には学校公開時、年度末にそれぞれ実施し、90%以上の肯定的評価を目指す。</li> </ul>				
教育の特色ある展開	ボラティア活動の推進。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の活動への積極的な参加をうながす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4割程度の生徒が何らかの活動に参加する。</li> </ul>				
	働き方改革の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後活動無しの日を継続する。</li> <li>定時退勤や休暇の取得を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則水曜日の放課後活動を無くし、校務や会議に充てる。</li> <li>全教員が年次休暇を7日以上取得する。</li> </ul>				